

# 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する 活動報告レポート [2021 年第 1 四半期 (1 月～3 月)]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポートについて  
本レポートでは、2021 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの間に JVN iPedia  
で登録をした脆弱性対策情報の統計及び事例について紹介しています。

## 目次

1. 2021 年第 1 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況 .....	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況 .....	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数 .....	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合 .....	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数 .....	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況 .....	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況 .....	- 8 -

# 1. 2021年第1四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia ( <https://jvndb.jvn.jp/> )」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を2007年4月25日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN<sup>(1)</sup> で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST<sup>(2)</sup> の脆弱性データベース「NVD<sup>(3)</sup>」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

## 1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 127,089 件～

2021年第1四半期(2021年1月1日から3月31日まで)にJVN iPedia 日本語版へ登録した脆弱性対策情報は右表の通りとなり、2007年4月25日にJVN iPediaの公開を開始してから本四半期までの、**脆弱性対策情報の登録件数の累計は127,089件になりました**(表1-1、図1-1)。

また、JVN iPedia 英語版へ登録した脆弱性対策情報は右表の通り、累計で2,260件になりました。

表 1-1. 2021年第1四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	4件	253件
	JVN	260件	9,976件
	NVD	1,437件	116,860件
	計	1,701件	127,089件
英語版	国内製品開発者	4件	248件
	JVN	39件	2,012件
	計	43件	2,260件

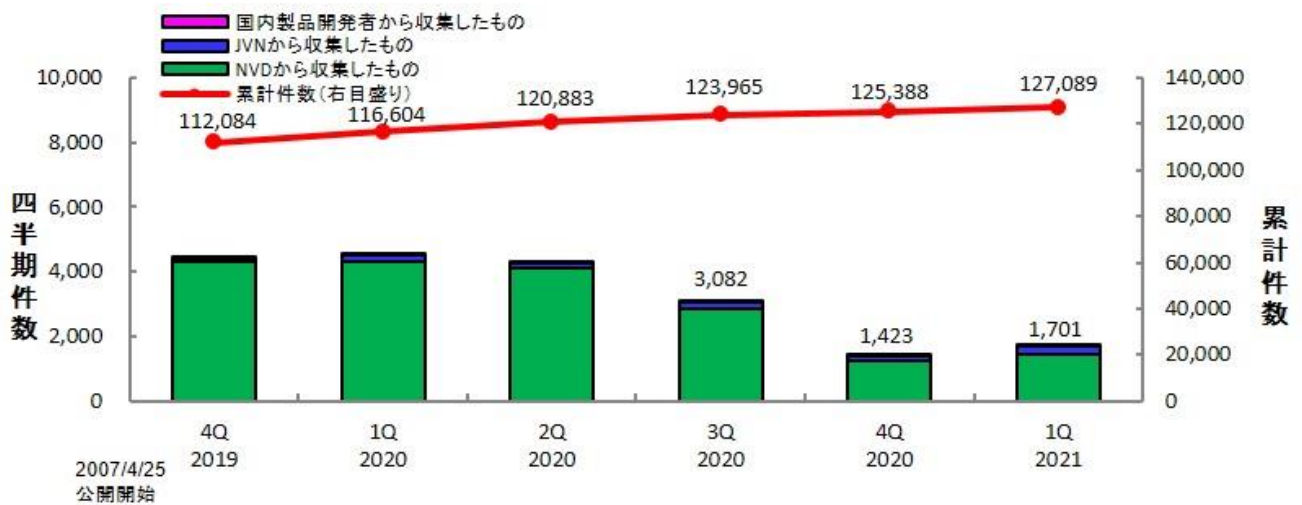


図 1-1. JVN iPedia の登録件数の四半期別推移

<sup>(1)</sup> Japan Vulnerability Notes : 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CC が共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

<sup>(2)</sup> National Institute of Standards and Technology : 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関 : <https://www.nist.gov>

<sup>(3)</sup> National Vulnerability Database : NIST が運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

## 2. JVN iPedia の登録データ分類

### 2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2021 年第 1 四半期（1 月～3 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-79（クロスサイトスクリプティング）が 170 件、CWE-269（不適切な権限管理）が 132 件、CWE-20（不適切な入力確認）が 128 件、CWE-787（境界外書き込み）が 64 件、CWE-200（情報漏えい）が 51 件でした。最も件数の多かった CWE-79（クロスサイトスクリプティング）は、悪用されると偽のウェブページが表示されたり、情報が漏えいしたりするおそれがあります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#)<sup>(4)</sup>」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#)<sup>(5)</sup>」や「[IPA セキュア・プログラミング講座](#)<sup>(6)</sup>」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#)<sup>(7)</sup>」などを公開しています。

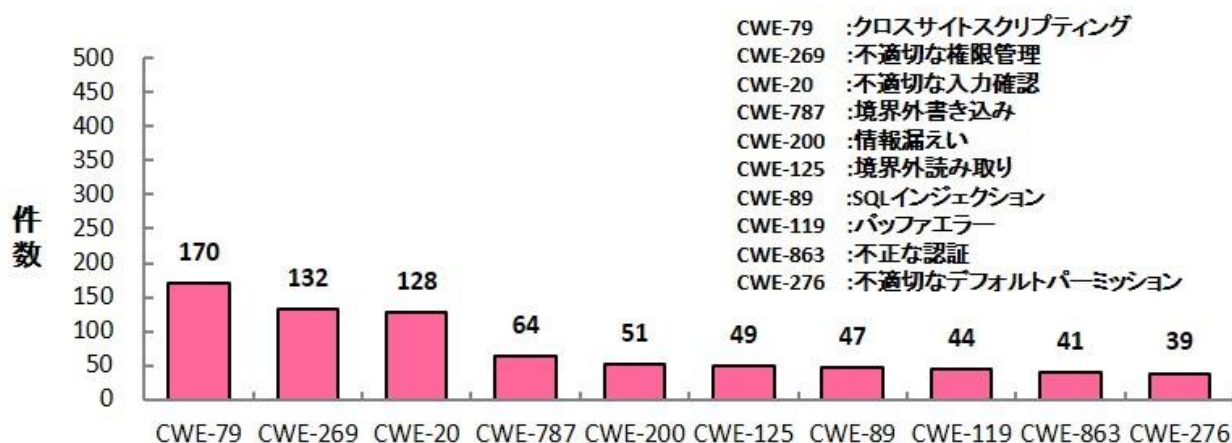


図 2-1. 2021 年第 1 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

<sup>(4)</sup> IPA：「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/notice/guideforvendor.html>

<sup>(5)</sup> IPA：「安全なウェブサイトの作り方」  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

<sup>(6)</sup> IPA：「IPA セキュア・プログラミング講座」  
<https://www.ipa.go.jp/security/awareness/vendor/programming/>

<sup>(7)</sup> IPA：「脆弱性体験学習ツール AppGoat」  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/>

## 2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2021 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル III が全体の 23.5%、レベル II が 59.5%、レベル I が 17.0% となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル II 以上が 83.0% を占めています。

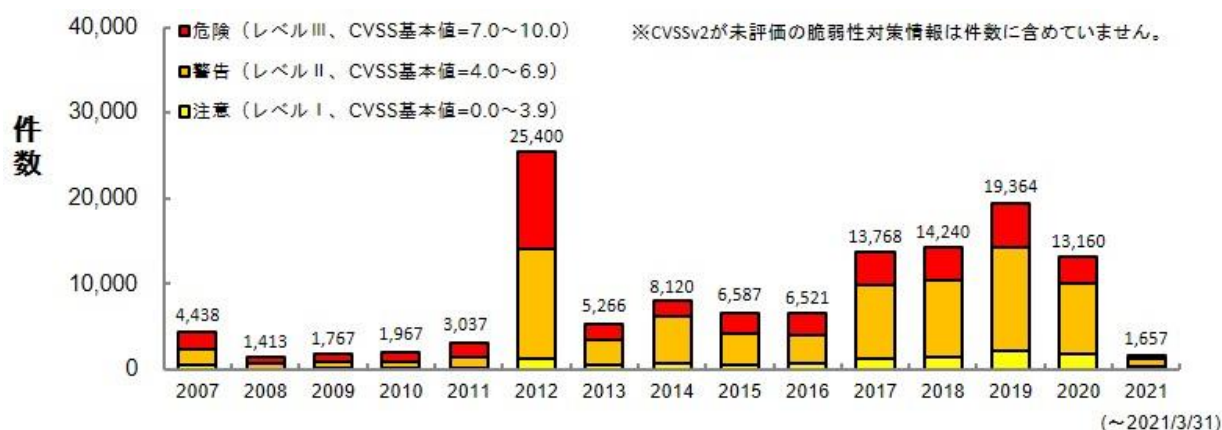


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2)

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2021 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 12.0%、「重要」が 45.2%、「警告」が 40.8%、「注意」が 2.1% となっています。

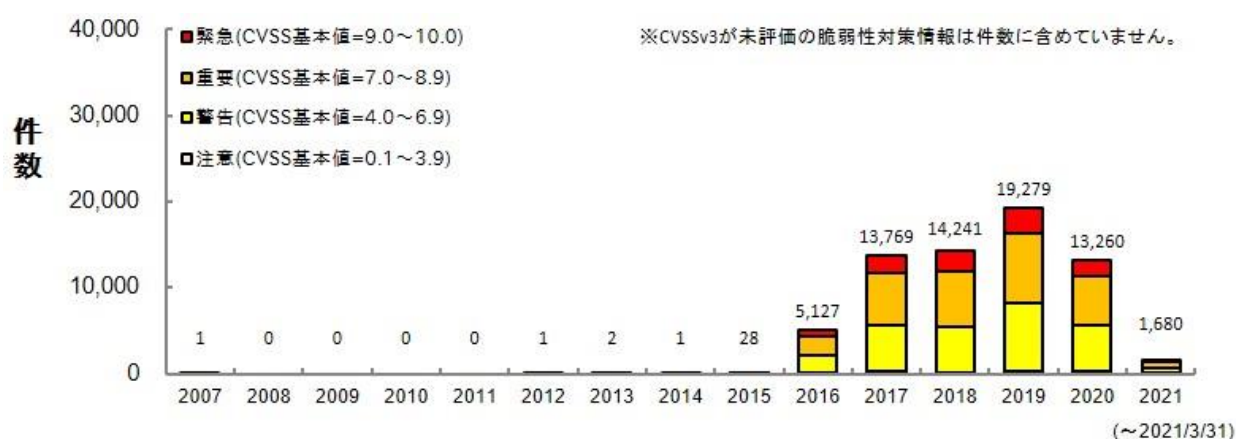


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3)

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデートなどを速やかに行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式<sup>(\*)</sup> で公開しています。

---

<sup>(\*)</sup> IPA : 「JVN iPedia データフィード」  
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

### 2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種別別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種別別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2021 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2021 年の件数全件の約 57.1%（972 件／全 1,701 件）を占めています。

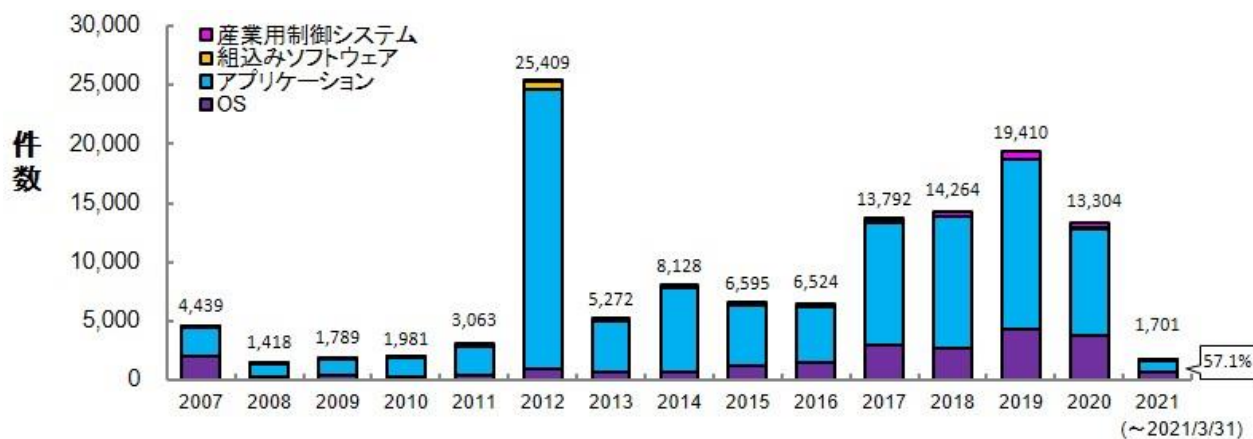


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種別別件数の公開年別推移

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。これまでに累計で 2,904 件を登録しています。

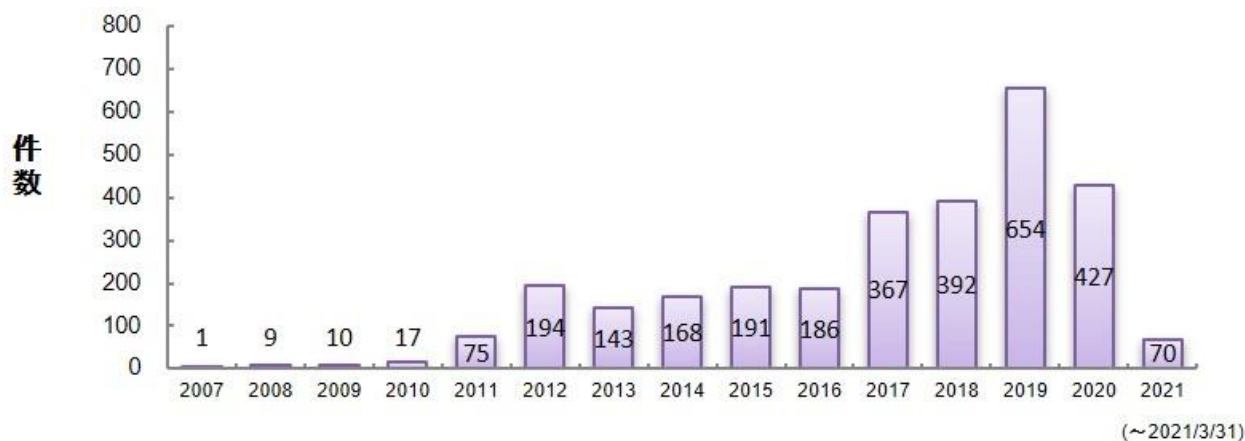


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）

## 2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2021 年第 1 四半期（1 月～3 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 件を示したものです。

本四半期において最も登録件数が多かった製品はクアルコム製品で、551 件登録されました。これは 2019 年から 2020 年にかけて公表された複数のクアルコム製品に関する脆弱性情報を登録したためです。また、2 位から 16 位には OS 製品が並んでおり、特にマイクロソフト社の Windows 製品が多くを占めています。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください<sup>(\*)</sup>。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 件 [2021 年 1 月～2021 年 3 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	ファームウェア	Qualcomm component (クアルコム)	551
2	OS	Android (Google)	159
3	OS	Microsoft Windows Server (マイクロソフト)	153
4	OS	Microsoft Windows 10 (マイクロソフト)	152
5	OS	Microsoft Windows Server 2019 (マイクロソフト)	138
6	OS	Microsoft Windows Server 2016 (マイクロソフト)	123
7	OS	Apple Mac OS X (アップル)	120
8	OS	Microsoft Windows Server 2012 (マイクロソフト)	101
8	OS	iOS (アップル)	101
10	OS	Microsoft Windows 8.1 (マイクロソフト)	93
11	OS	Microsoft Windows RT 8.1 (マイクロソフト)	88
12	OS	Microsoft Windows Server 2008 (マイクロソフト)	78
13	OS	watchOS (アップル)	75
14	OS	Microsoft Windows 7 (マイクロソフト)	70
14	OS	tvOS (アップル)	70
16	OS	iPadOS (アップル)	59
17	その他	SAP 3D Visual Enterprise Viewer (SAP)	38
18	OS	Debian GNU/Linux (Debian)	36
19	メディアプレーヤー	iTunes (アップル)	34
20	クラウドサービス	iCloud (アップル)	32

<sup>(\*)</sup> IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」  
<https://www.ipa.go.jp/security/technicalwatch/20150331.html>



### 3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2021 年第 1 四半期（1 月～3 月）にアクセスの多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 件を示したものです。

本四半期は脆弱性対策情報ポータルサイト JVN で公開した脆弱性対策情報が上位 20 件中 15 件を占めました。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 件 [2021 年 1 月～2021 年 3 月]

順位	ID	タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2021-000002	IPMI over LAN による RMCP 接続を行う日本電気製の複数製品に認証不備の脆弱性	5.0	5.3	2021/1/4	8,557
2	JVNDB-2021-000003	SKYSEA Client View のインストーラにおける DLL 読み込みに関する脆弱性	6.8	7.8	2021/1/12	8,516
3	JVNDB-2021-000001	UNIVERGE SV9500/SV8500 シリーズにおける複数の脆弱性	5.8	9.6	2021/1/4	8,202
4	JVNDB-2021-000015	FileZen における OS コマンドインジェクションの脆弱性	9.0	9.1	2021/2/16	7,686
5	JVNDB-2014-003893	phpMyAdmin におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	3.5	なし	2014/8/25	7,388
6	JVNDB-2021-000006	Aterm WF800HP、Aterm WG2600HP および Aterm WG2600HP2 における複数の脆弱性	4.3	7.5	2021/1/22	7,286
7	JVNDB-2021-000004	acmailer における複数の脆弱性	7.5	9.8	2021/1/14	7,131
8	JVNDB-2021-000016	SolarView Compact における複数の脆弱性	5.8	6.3	2021/2/19	6,133
9	JVNDB-2021-000005	GROWI におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	4.3	6.1	2021/1/19	5,874
10	JVNDB-2021-000008	複数のエレコム製品における複数の脆弱性	5.8	8.8	2021/1/26	5,796
11	JVNDB-2021-000007	インフォサイエンス製の複数のログ管理ツールにおける OS コマンドインジェクションの脆弱性	7.1	7.5	2021/1/27	5,533
12	JVNDB-2021-000014	コルソス CSDJ におけるアクセス制限不備の脆弱性	4.0	4.3	2021/2/15	5,508
13	JVNDB-2021-000010	複数のロジテック製品における複数の脆弱性	5.2	6.8	2021/1/26	5,443
14	JVNDB-2020-000087	日本電気株式会社製ディスクアレイ管理ソフトウェアにサーバ証明書の検証不備の脆弱性	4.0	4.8	2020/12/18	5,368
15	JVNDB-2021-000013	Wekan におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	3.5	5.4	2021/2/10	5,341
16	JVNDB-2020-010072	Hitachi Command Suite 製品におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	なし	なし	2020/12/21	5,340
17	JVNDB-2021-001021	JP1/IT Desktop Management 2 - Manager、JP1/NETM/Asset Information Manager におけるアクセス制御不備による脆弱性	なし	なし	2021/2/8	5,149
18	JVNDB-2021-001026	JP1/Automatic Operation における複数の脆弱性	なし	なし	2021/2/16	5,056

順位	ID	タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
19	JVNDB-2020-009964	Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における SSL サー バ証明書を検証不備の脆弱性	なし	なし	2020/12/15	4,922
20	JVNDB-2020-000084	Apache Struts 2 において任意のコードが実行可能 な脆弱性 (S2-061)	6.8	8.1	2020/12/11	4,919

表 3-2 は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位 5 件を示して  
います。

**表 3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位 5 件 [2021 年 1 月～2021 年 3 月]**

順位	ID	タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2020-010072	Hitachi Command Suite 製品におけるクロスサイ トスクリプティングの脆弱性	なし	なし	2020/12/21	5,340
2	JVNDB-2021-001021	JP1/IT Desktop Management 2 - Manager、 JP1/NETM/Asset Information Manager におけるア クセス制御不備による脆弱性	なし	なし	2021/2/8	5,149
3	JVNDB-2021-001026	JP1/Automatic Operation における複数の脆弱性	なし	なし	2021/2/16	5,056
4	JVNDB-2020-009964	Hitachi Infrastructure Analytics Advisor および Hitachi Ops Center Analyzer における SSL サー バ証明書を検証不備の脆弱性	なし	なし	2020/12/15	4,922
5	JVNDB-2021-001022	Hitachi Application Server ヘルプにおけるクロス サイトスクリプティングの脆弱性	なし	なし	2021/2/8	4,674

注 1) CVSSv2 基本値の深刻度による色分け

CVSS 基本値=0.0～3.9 深刻度=レベル I (注意)	CVSS 基本値=4.0～6.9 深刻度=レベル II (警告)	CVSS 基本値=7.0～10.0 深刻度=レベル III (危険)
------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

注 2) CVSSv3 基本値の深刻度による色分け

CVSS 基本値=0.1～3.9 深刻度=注意	CVSS 基本値=4.0～6.9 深刻度=警告	CVSS 基本値=7.0～8.9 深刻度=重要	CVSS 基本値=9.0～10.0 深刻度=緊急
----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------

注 3) 公開日の年による色分け

2019 年以前の公開	2020 年の公開	2021 年の公開
-------------	-----------	-----------